

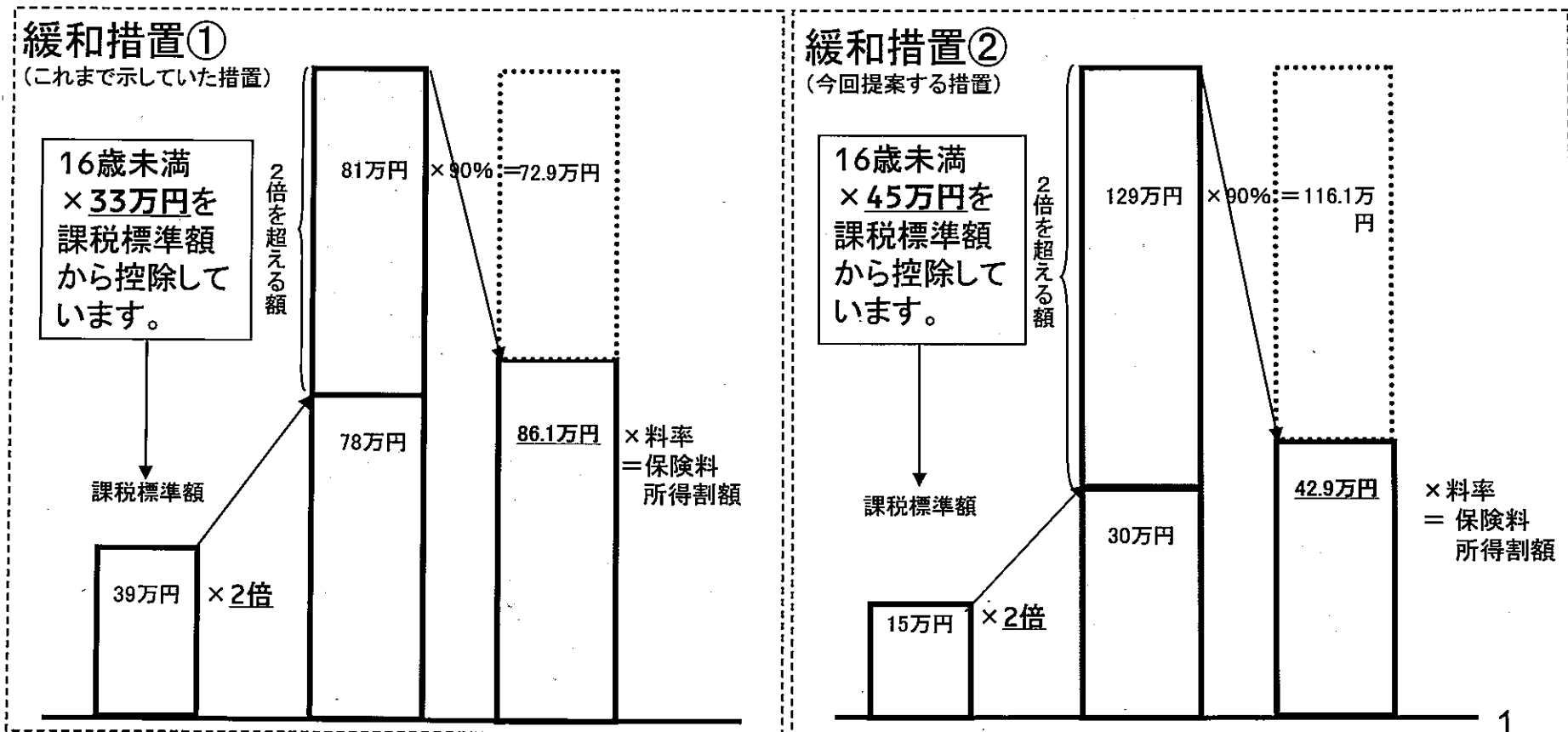
(参考資料)

給与世帯・年金世帯・障害者・寡婦(夫)世帯の  
世帯人数別シミュレーション

# 1 『所得』の減額の基本的な考え方

給与収入300万円の4人世帯に課税者がいる場合の所得シミュレーションは下図のとおりとなります。

なお、緩和措置をしない場合の保険料は『所得』159万円 × 料率 = 所得割額となります。



## 2 給与世帯のシミュレーション

### (1) 単身世帯(40歳)のモデル保険料

(単位:円)

給与収入	100万	200万	300万	400万	500万	600万
市県民税方式	62,010	265,700	420,680	577,650	710,720	770,000
緩和措置なし	( 2,510 )	( ▲ 76,410 )	( ▲ 143,470 )	( ▲ 207,500 )	( ▲ 240,090 )	( ▲ 198,890 )
緩和措置①(33万円)	( 290 )	( ▲ 53,980 )	( ▲ 103,400 )	( ▲ 148,780 )	( ▲ 161,210 )	( ▲ 111,630 )
緩和措置②(45万円)	( 290 )	( ▲ 53,090 )	( ▲ 101,810 )	( ▲ 146,450 )	( ▲ 158,080 )	( ▲ 108,880 )

※保険料のカッコ内の金額は、市県民税方式保険料からの増減額になります。以下の表も同様となります。

### (2) 2人世帯(夫婦ともに40歳)のモデル保険料

(単位:円)

給与収入	100万	200万	300万	400万	500万	600万
市県民税方式	57,240	215,340	370,320	535,140	683,210	770,000
緩和措置なし	( 2,500 )	( 10,910 )	( ▲ 56,150 )	( ▲ 128,030 )	( ▲ 175,620 )	( ▲ 161,930 )
緩和措置①(33万円)	( 280 )	( 26,550 )	( ▲ 16,080 )	( ▲ 69,310 )	( ▲ 96,740 )	( ▲ 82,470 )
緩和措置②(45万円)	( 290 )	( 27,400 )	( ▲ 14,490 )	( ▲ 66,980 )	( ▲ 93,610 )	( ▲ 79,720 )

旧ただし書き方式では、大幅な減額となっておりましたが、緩和措置の影響により減額幅は小さくなります。

(3) 3人世帯(夫婦ともに40歳・小学生1人)のモデル保険料

(単位:円)

給与収入	100万	200万	300万	400万	500万	600万
市県民税方式	71,820	114,900	312,140	476,960	644,570	761,600
緩和措置なし	74,320 ( 2,500 )	226,690 ( 111,790 )	343,330 ( 31,190 )	436,270 ( ▲ 40,690 )	536,750 ( ▲ 107,820 )	637,230 ( ▲ 124,370 )
緩和措置①(33万円)	72,100 ( 280 )	128,320 ( 13,420 )	363,040 ( 50,900 )	494,990 ( 18,030 )	615,630 ( ▲ 28,940 )	712,230 ( ▲ 49,370 )
緩和措置②(45万円)	72,110 ( 290 )	128,420 ( 13,520 )	331,700 ( 19,560 )	497,320 ( 20,360 )	618,760 ( ▲ 25,810 )	714,200 ( ▲ 47,400 )

給与300万円で、①では5万円以上の増額となっておりますが、②では2万円以内の増額に抑えられております。また、その他について、②では概ね2万円以内の増額となっております。

(4) 4人世帯(夫婦ともに40歳・小学生2人)のモデル保険料

(単位:円)

給与収入	100万	200万	300万	400万	500万	600万
市県民税方式	86,400	138,230	255,150	419,970	604,520	732,680
緩和措置なし	88,900 ( 2,500 )	250,010 ( 111,780 )	372,490 ( 117,340 )	465,430 ( 45,460 )	565,910 ( ▲ 38,610 )	666,390 ( ▲ 66,290 )
緩和措置①(33万円)	86,680 ( 280 )	151,650 ( 13,420 )	302,630 ( 47,480 )	495,650 ( 75,680 )	644,790 ( 40,270 )	734,430 ( 1,750 )
緩和措置②(45万円)	86,690 ( 290 )	151,740 ( 13,510 )	237,900 ( ▲ 17,250 )	432,210 ( 12,240 )	643,820 ( 39,300 )	736,400 ( 3,720 )

給与400万円で、①では7万円程度増額しておりますが、②では1万円程度の増額に抑制されております。また、その他について、②では500万円の給与を除いて、概ね1万円程度の増額となっております。

### 3 年金世帯のシミュレーション

#### (1) 年金単身世帯のモデル保険料

(単位:円)

年金収入	100万	200万	300万	400万	500万	600万
市県民税方式	18,970	116,480	306,760	450,970	591,440	650,000
緩和措置なし	18,970 ( 0 )	98,240 ( ▲ 18,240 )	212,290 ( ▲ 94,470 )	295,940 ( ▲ 155,030 )	381,120 ( ▲ 210,320 )	467,310 ( ▲ 182,690 )
緩和措置①(33万円)	18,970 ( 0 )	107,400 ( ▲ 9,080 )	240,950 ( ▲ 65,810 )	340,700 ( ▲ 110,270 )	442,250 ( ▲ 149,190 )	545,010 ( ▲ 104,990 )
緩和措置②(45万円)	18,970 ( 0 )	107,740 ( ▲ 8,740 )	241,990 ( ▲ 64,770 )	342,310 ( ▲ 108,660 )	444,450 ( ▲ 146,990 )	547,810 ( ▲ 102,190 )

#### (2) 年金2人世帯のモデル保険料

(単位:円)

年金収入	100万	200万	300万	400万	500万	600万
市県民税方式	27,710	73,910	268,120	412,320	564,170	650,000
緩和措置なし	27,710 ( 0 )	121,570 ( 47,660 )	241,450 ( ▲ 26,670 )	325,100 ( ▲ 87,220 )	410,280 ( ▲ 153,890 )	496,470 ( ▲ 153,530 )
緩和措置①(33万円)	27,710 ( 0 )	79,590 ( 5,680 )	270,110 ( 1,990 )	369,860 ( ▲ 42,460 )	471,410 ( ▲ 92,760 )	574,170 ( ▲ 75,830 )
緩和措置②(45万円)	27,710 ( 0 )	79,620 ( 5,710 )	271,150 ( 3,030 )	371,470 ( ▲ 40,850 )	473,610 ( ▲ 90,560 )	576,970 ( ▲ 73,030 )

旧ただし書き方式では、大幅な減額となっておりますが、緩和措置の影響により、減額幅は小さくなります。

年金2人世帯の200万円・300万円では、緩和措置によって、1万円以内の増額に抑えられております。

# 4 障害者・寡婦(夫)世帯のシミュレーション

(1) 世帯主(40歳:寡婦)と小学生1人(障害者)のモデル保険料

(単位:円)

給与収入	100万	200万	300万	400万	500万	600万
市県民税方式	53,340	106,680	224,760	389,580	569,160	706,280
緩和措置なし	55,840 ( 2,500 )	218,450 ( 111,770 )	306,370 ( 81,610 )	399,310 ( 9,730 )	499,790 ( ▲ 69,370 )	600,270 ( ▲ 106,010 )
緩和措置①(33万円)	53,340 ( 0 )	106,680 ( 0 )	235,650 ( 10,890 )	428,670 ( 39,090 )	550,670 ( ▲ 18,490 )	659,530 ( ▲ 46,750 )
緩和措置②(45万円)	53,340 ( 0 )	106,680 ( 0 )	203,910 ( ▲ 20,850 )	398,210 ( 8,630 )	553,800 ( ▲ 15,360 )	662,280 ( ▲ 44,000 )

(2) 夫婦(ともに40歳)と小学生1人(障害者)のモデル保険料

(単位:円)

給与収入	100万	200万	300万	400万	500万	600万
市県民税方式	71,820	114,900	248,180	413,000	594,910	724,160
緩和措置なし	74,320 ( 2,500 )	226,690 ( 111,790 )	343,330 ( 95,150 )	436,270 ( 23,270 )	536,750 ( ▲ 58,160 )	637,230 ( ▲ 86,930 )
緩和措置①(33万円)	71,820 ( 0 )	115,320 ( 420 )	279,470 ( 31,290 )	472,490 ( 59,490 )	602,630 ( 7,720 )	699,230 ( ▲ 24,930 )
緩和措置②(45万円)	71,820 ( 0 )	115,410 ( 510 )	247,670 ( ▲ 510 )	441,970 ( 28,970 )	605,760 ( 10,850 )	701,200 ( ▲ 22,960 )

(3) 夫婦(ともに40歳で夫が障害者)と小学生2人のモデル保険料

(単位:円)

給与収入	100万	200万	300万	400万	500万	600万
市県民税方式	86,400	138,230	190,020	354,840	540,560	695,240
緩和措置なし	88,900 ( 2,500 )	250,010 ( 111,780 )	372,490 ( 182,470 )	465,430 ( 110,590 )	565,910 ( 25,350 )	666,390 ( ▲ 28,850 )
緩和措置①(33万円)	86,400 ( 0 )	138,650 ( 420 )	219,050 ( 29,030 )	412,070 ( 57,230 )	622,290 ( 81,730 )	721,430 ( 26,190 )
緩和措置②(45万円)	86,400 ( 0 )	138,740 ( 510 )	183,920 ( ▲ 6,100 )	348,170 ( ▲ 6,670 )	559,780 ( 19,220 )	723,400 ( 28,160 )

給与200万円～300万円で緩和されております。給与400万円以上でも、保険料の増額が3万円以内に抑えられております。